

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 3月 11日

事業所名 放課後等デイサービス いまここstep

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4	1			
	2	職員の配置数は適切である	4	1		コロナ渦等、様々な理由で出勤職員の安定がしないこともあるが状況に応じた対応は出来ている。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		4	1	家具、備品などの配置等、安全面を考慮している。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5			活動は企画書を作成した上で実施し、活動後は振り返り会議を実施している。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5			面談や送迎時にニーズを聞き活動や過ごしに反映している。また活動については年1回アンケートを取りニーズに応じたものを提供している。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5				
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	5				
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5			内部、外部研修により支援のための知識を深めることに努めている。	
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5			6か月毎に面談やモニタリング等を行い、児童・保護者様の思いに沿った支援が出来るようにしている。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	1			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	5			月に1回レク会議を実施し考案を行っている。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5			同じ月の中で曜日ごとに同じ活動が重ならないように意識している。	

適切な支援の提供	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	4	1		活動ねらいを定め、平日では出来ない活動を長期休暇や休日に行っている。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5			1日の過ごしの中で自由時間と集団活動時間を設けることで児童たちの状態や様子を見て調整している。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4	1		朝、昼にミーティングを行い活動内容や職員の配置など、支援の役割分担を確認している。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4	1		毎日、職員間で支援の振り返り、気付いた点、保護者様からの申し送り等の情報共有を行っている。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5			振り返りや申し送り等の記録を取り児童支援等に繋げている。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5				
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	4	1			
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5				
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	4	1		学校の下校時間の提示がない場合は保護者様に確認をしている。緊急時などは電話等で連絡調整を行っている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている			5		現在、該当児童がいない
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		4	1		
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している			5		現在、該当児童がいないが、必要に応じて情報を共有出来るよう資料はまとめている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	1		モニタリング訪問や電話等、必要に応じてケース会議を行い、情報共有を行っている。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		1	4		
27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	2	2	1			

	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5			連絡帳だけでなく送迎時等にも保護者様や学校の先生との申し送りを行い日頃の様子やその日の状態などを情報共有している。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	3	2			
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5				
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5				
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		1	4		
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5				
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5			連絡帳アプリやSNSを活用し発信している。	
	35	個人情報に十分注意している	5			個人情報は鍵付きラックにて保管	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5			児童に応じて絵カードを使用し意思の確認、保護者様への共有事項は連絡帳だけでなく送迎時にも密に行うことを意識している。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3	1	1		
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5			連絡帳アプリにて配信し紙面でも同様の内容を配布、説明を行った。	
非常時等の対応	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5			年に2回は訓練を行っている。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5			年に2回虐待、身体拘束について研修を実施している。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5				
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5			保護者様からの情報共有をもとに支援を行っている。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5			毎月ヒヤリハット事例を作成、職員間で共有を行っている。	